

計量経済 II：中間試験

村澤 康友

2018 年 11 月 13 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいと与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
 - (a) パラメトリックな分布
 - (b) 標本和
 - (c) 点推定
 - (d) 信頼区間
2. (30 点) 分布表を用いて以下の問いに答えなさい。
 - (a) $X \sim \chi^2(10)$ とする。 $\Pr[X \leq a] = .1$ となる a を求めなさい。
 - (b) $Y \sim t(20)$ とする。 $\Pr[Y \leq b] = .2$ となる b を求めなさい。
 - (c) $Z \sim F(30, 40)$ とする。 $\Pr[Z \leq c] = .05$ となる c を求めなさい。
3. (50 点) $N(\mu, \sigma^2)$ から抽出した大きさ n の無作為標本を (X_1, \dots, X_n) とする。 μ, σ^2 は未知とする。
 - (a) 標本平均 \bar{X} と標本分散 s^2 を式で定義しなさい。
 - (b) \bar{X} の平均と分散を求めなさい。（要証明）
 - (c) \bar{X} と s^2 は、それぞれどのような分布をもつか？（証明不要）
 - (d) $n = 20$ として μ の 95 % 信頼区間を求めなさい。
 - (e) $n = 30$ として σ^2 の 95 % 信頼区間を求めなさい。

解答例

1. 統計学の基本用語

- (a) 有限個の母数で表せる分布.
- (b) 標本 (X_1, \dots, X_n) の標本和は $T := X_1 + \dots + X_n$.
- (c) 母数を一意に定める推定.
- (d) ある確率で母数を含む確率的な区間.

2. 分布表の読み方

- (a) $\Pr[X \leq a] = 1 - \Pr[X > a]$ より

$$\begin{aligned}\Pr[X > a] &= 1 - \Pr[X \leq a] \\ &= 1 - .1 \\ &= .9\end{aligned}$$

χ^2 分布表より $X \sim \chi^2(10)$ なら $a = 4.86518$.

- (b) t 分布の対称性より

$$\begin{aligned}\Pr[Y \geq -b] &= \Pr[Y \leq b] \\ &= .2\end{aligned}$$

t 分布表より $Y \sim t(20)$ なら $-b = .860$. すなわち $b = -.860$.

- 符号のミスは5点.

- (c) $Z < c \iff 1/Z > 1/c$ より

$$\begin{aligned}\Pr\left[\frac{1}{Z} > \frac{1}{c}\right] &= \Pr[Z < c] \\ &= .05\end{aligned}$$

$Z \sim F(30, 40)$ なら $1/Z \sim F(40, 30)$ なので F 分布表より $1/c = 1.792$. すなわち $c = 1/1.792$.

3. 正規母集団

- (a)

$$\begin{aligned}\bar{X} &:= \frac{X_1 + \dots + X_n}{n} \\ s^2 &:= \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2\end{aligned}$$

- (b) 期待値の線形性より

$$\begin{aligned}E(\bar{X}) &= E\left(\frac{X_1 + \dots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{E(X_1 + \dots + X_n)}{n} \\ &= \frac{E(X_1) + \dots + E(X_n)}{n} \\ &= \frac{\mu + \dots + \mu}{n} \\ &= \mu\end{aligned}$$

X_1, \dots, X_n は独立なので

$$\begin{aligned}\text{var}(\bar{X}) &= \text{var}\left(\frac{X_1 + \dots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{\text{var}(X_1 + \dots + X_n)}{n^2} \\ &= \frac{\text{var}(X_1) + \dots + \text{var}(X_n)}{n^2} \\ &= \frac{\sigma^2 + \dots + \sigma^2}{n^2} \\ &= \frac{\sigma^2}{n}\end{aligned}$$

- 分散の導出で独立性を明記しなければ 2 点減.

(c)

$$\begin{aligned}\bar{X} &\sim N\left(\mu, \frac{\sigma^2}{n}\right) \\ \frac{(n-1)s^2}{\sigma^2} &\sim \chi^2(n-1)\end{aligned}$$

(d) 標準化すると

$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{\sigma^2/n}} \sim N(0, 1)$$

σ^2 を s^2 に置き換えると

$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{s^2/n}} \sim t(n-1)$$

t 分布表より $n = 20$ なら

$$\Pr\left[-2.093 \leq \frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{s^2/20}} \leq 2.093\right] = .95$$

すなわち

$$\Pr\left[-2.093\sqrt{\frac{s^2}{20}} \leq \bar{X} - \mu \leq 2.093\sqrt{\frac{s^2}{20}}\right] = .95$$

または

$$\Pr\left[\bar{X} - 2.093\sqrt{\frac{s^2}{20}} \leq \mu \leq \bar{X} + 2.093\sqrt{\frac{s^2}{20}}\right] = .95$$

したがって μ の 95 %信頼区間は

$$\left[\bar{X} - 2.093\sqrt{\frac{s^2}{20}}, \bar{X} + 2.093\sqrt{\frac{s^2}{20}}\right]$$

(e) χ^2 分布表より $n = 30$ なら

$$\Pr\left[16.0471 \leq \frac{29s^2}{\sigma^2} \leq 45.7223\right] = .95$$

すなわち

$$\Pr\left[\frac{1}{45.7223} \leq \frac{\sigma^2}{29s^2} \leq \frac{1}{16.0471}\right] = .95$$

または

$$\Pr \left[\frac{29s^2}{45.7223} \leq \sigma^2 \leq \frac{29s^2}{16.0471} \right] = .95$$

したがって σ^2 の 95 %信頼区間は

$$\left[\frac{29s^2}{45.7223}, \frac{29s^2}{16.0471} \right]$$